

祝 令和4年 郡上市成人式

1月9日（日）、「令和4年郡上市成人式」が、郡上市総合文化センター（南部会場）および白鳥文化ホール（北部会場）において挙行され、432人（南部198人、北部234人）のみなさんが、晴れて成人式を迎えました。（出席者375人）





市長式辞（抜粋）



本日の成人式は、「満20歳を成人とする」旨を規定する現行の法律の下での最後の成人式となります。令和4年4月1日からは民法の改正により成年年齢が引き下げられ、「18歳をもって、成年とする」ことになるからです。本年4月1日以降の1年間は、新たに満18歳、19歳、20歳になる人たちがすべてが、つまり3つの学年に亘る人たちが「新成人」として誕生することとなります。

このような法改正を受けて、郡上市でも「成人式」のあり方の検討を重ねた結果「18歳を対象とした場合は、受験や就職の準備と重なり負担が大きくなる」という声もあることから、今後ともこれまでの通り20歳を対象に、「おとな」への節目の機会としてお祝いをする式典を開催する予定としております。式典の名称などについては、今後決定していきますが、本日、成人式を迎えられたみなさんは、日本で明治時代以降約140年続いた「成人」の定義に関する法制度転換への流れの中で「最後の20歳成人」として「おとな」の仲間入りすることとなります。このことも、ぜひ記憶に留めておいてください。

さて、これからの時代は、「生きる力」、それ以上に「生き抜く力」が必要だと言われています。今の時代を表す言葉として「予測不能な時代」「大きな転換期」また「不安定な時代」など、様々なものがありますが、共通してその底辺にあるものは「変化」です。テクノロジーの進化により便利なサービスが次々と生まれ生活基盤が豊かになる一方で、新型コロナウイルス感染症の影響によって新たな生活様式が通常化するなど、まさに大きな変化への対応が求められています。こうした変化を脅威と捉えるか、時代に柔軟に適応してチャンスと捉えるかは、自分の考え次第です。生き抜くためには、めまぐるしく変化する社会に対応できる「柔軟性」、自ら考え行動する「主体性」が必要となります。この「生き抜く力」を養うことが、自分自身の人生を豊かなものとする信念や自信へと繋がっていくのではないのでしょうか。何事もプラス思考で前向きに捉えていける考え方を磨き、逆境にくじけず、強く生き抜いてください。

みなさんの洋々たる前途に幸多からんことを祈念し、併せて、ご参集の皆さまのご健勝をお祈り申し上げ、私の式辞といたします。

成人式を終えて、実行委員のみなさんから感想をいただきました

- 新成人が運営に携わることで一体感が生まれ、また、式への思いが強まったと思います。
- 人生に1度の機会であり、実行委員として貴重な経験ができました。
- 実行委員として主体的にできたので、とても良かったし楽しかったです。
- コロナによる制限が多い中で、できることを全てやったと思います。
- 久しぶりに再会できた人もいて、とても有意義な時間になったと思います。

新成人（各中学校代表） 誓いの言葉

※各中学校代表による誓いの言葉の要約。



山本 大聖さん
八幡中学校代表

私は、生まれてから高校までを郡上で過ごし、現在はスポーツトレーナーとして働くために、専門学校に進学しました。スポーツトレーナーはアスリートを主に対象とし、試合や競技会に向けて選手を最高の状態に仕上げる仕事です。自分が考えたトレーニングメニューにより選手に指導するため、その判断は選手の人生に大きく影響を及ぼす場合があります。自分の行ったことが周りに影響を与えていく、これらのことをしっかりと考えるのが大人としての自覚、責任を持つことだと考えます。もちろんトレーナーとして、大人として、自分の言動が選手に悪影響となってしまうことは絶対にあってはなりません。そうならないように私は、学校で知識や技術をもっと身につけ、経験を積み、自分が相手をする選

手の人生をより良い方向へ変えていけるよう努力し続けます。



村土 ひかりさん
八幡西中学校代表

私は、看護師になる夢を叶えるため、高校を卒業後、郡上を離れて一人暮らしをしています。新たな環境や学校生活に不安を抱きながらも新しい生活に胸を弾ませていました。しかし、コロナ禍により思うように学校生活を送れず、また、地元友達に会うことも難しい状況でした。何気ない生活のありがたさや人との繋がりの大切さを感じるとともに、一人ひとりの行動が社会に与える影響の大きさを実感した時間でした。いつもの日常ではなかったからこそ故郷の良さに気づき、支えてくれた家族や友人の存在の大切さに気づくこともできたと思います。私たちは20歳という大きな節目を迎えましたが、これからは、人との繋がりがや関わりを大切にしながら自分も支えてもらったように、自分も誰かの支えになる社会人になれるよう日々精進していきます。



杉原 綾斗さん
郡南中学校代表

私は教師を目指し大学で勉強をしています。あらゆる教科の指導法や子どもへの発達心理まで、教壇に立つために必要な知識と技能を幅広く学んでいます。そうした中で、自分の視野の狭さを感じる時があります。変化し続ける時代に合わせ、教師自身、学び続け、広い視野を持ち成長し続けなければならぬ、自分も子どもたちにより影響を与えられる教師になり、教育者として郡上市や新しい社会に貢献していきたいとより強く思うようになりました。私は専門科目として音楽を学んでいます。音楽は大好きで幼い頃からピアノ教室に通っていましたが、今も音楽は自分が没頭できる唯一のもので、それを与えてくれたピアノの先生、そして教室に通わせてくれた両親に本当に感謝しています。私に音楽が無ければ、今どんな人生を歩んでいたか想像もできません。だからこそ、今度は私が、この目には見えない芸術の素晴らしさや楽しさを子どもたちに

音楽教育という形で伝えていきたいのです。



下川 ゆきさん
明宝中学校代表

私は郡上を離れて大学に進学し、看護を学んでいます。郡上を離れると生活環境は目まぐるしく変わり、豊かな自然、地域の人々との深い繋がりが恋しくなります。自然や人との関わりは郡上の良さであり、離れたことでさらに郡上を好きになりました。

私が新たな生活を送る中でよく考えることは「幸せとは何か」ということです。人によって様々だと思いますが、共通して言える幸せは「生きている」ことだと思います。明日、私たちがみんなが生きている保証はどこにもないけれど、私たちは当たり前前に明日も生きていると思っています。私は、当たり前前に生活できているこの環境が本当に幸せだと感じています。この幸せを当たり前と思わず、些細な事でも感謝し、人に寄り添い、その人らしさとその人の幸せを考えられる看護職をめざして精一杯努力を重ねていきます。



大野 玲奈さん
郡上東中学校代表

私は看護師になるという夢を叶えるため、郡上市を離れ勉学に励んでいます。看護師を志したのは郡上という地域で活躍でき、人と関わる仕事がしたいと考えたのがきっかけでした。郡上を離れて生活していく中で、今までなかなか気がつくことができなかった郡上の地域の温かさを感じ、さらに郡上で働く一員として活躍したいと改めて思いました。

看護について学び、実習を重ねていく中で、専門職として命に携わり、人の人生に関わるという責任や、その人らしく生きることを支援するという大切さを感じています。この責任を果たすため、知識と技術を身につけることはもちろん大切ですが、その人をよく知り、良い信頼関係を構築するためのコミュニケーション能力の向上が責任を果たす第一歩だと考えています。多様な価値観を知り、広い視野を持ち今後の人との関わりにつなげ、自分が考える良い看護を提供出来るよう努めていきます。



水向 和さん
大和中学校代表



荒井 晨希さん
白鳥中学校代表



島田 藍都さん
高鷲中学校代表

私たちは、高校を卒業した直後から新型コロナウイルスの感染拡大により新しい生活様式を強いられ、大きな不安とともにそれぞれの場所で新生活を迎えました。大学生になったと同時に全面的なオンライン授業が始まり、右も左もわからない状態でパソコンに向かい合う毎日。誰にも相談できず苦しい思いをしました。当たり前が当たり前ではなく、改めて「人との繋がり」の大切さを実感しています。毎日大変ですが、自信がなくなったときに励ましてくれる人が周りにいるということはとても幸せなことだと感じています。

私たちは成人という大きな節目を迎え、今後は社会の一員として責任のある行動が求められると同時に、自分にできることは何かを真剣に考える必要があります。目まぐるしく変化するこの社会ですが、流されてしまふことのないようにしっかりと自分をもち、地に根を張って力強く生きていきたいです。

私は大学を辞めました。それは本当にやりたいことができなかったからです。私は仕事を辞めたいと思ったからです。私はバレーボールを辞めました。私はバレーボールが大好きでしたが、世の中は意外と広くて他にも楽しいことがいっぱいあったからです。

高校生までの自分はそれまで続けてきたことをやり続けていただけでしたが、大学に進学し、自由な時間が増え、世界が広がりました。そこで、自分の行動力次第で、思いは実現可能になることが分かりました。

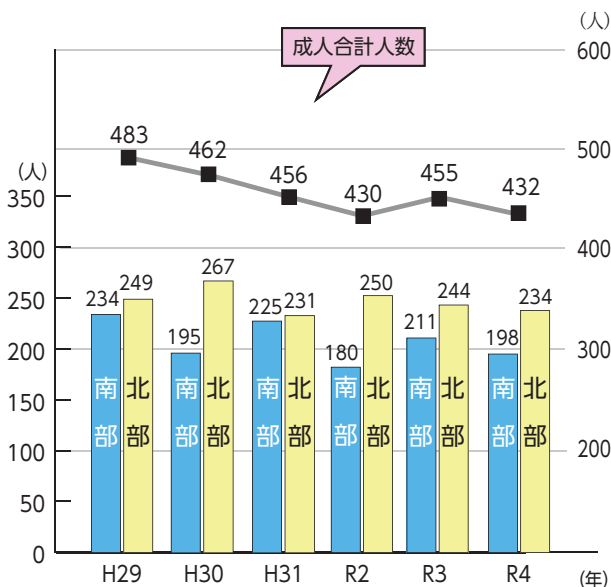
私は「あの時こうしておけばよかった」とか「あの頃が人生の全盛期だった」とかいう後悔を残したくありません。人生、タイミングは大切です。周りの都合を優先するのではなく、「自分がなにをしたいか」が一番大切ではないでしょうか。自分の身に起こることをチャンスと思いついて挑戦する勇気が、悔いを残さない人生につながると思います。

私は高校を卒業し東京の大学に進学しました。教員になるために必要な知識や情報を学んでいます。その中で「生きる力」という言葉があり、それを身に付けることが教育の目的となっていることを知りました。これは知、徳、体という3つの要素から成り、それぞれ、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力を表しています。私たちは仲間と切磋琢磨しながらともに前へ進み、「生きる力」を身に付けたいと思います。そして、その力を身に付ける側から、力を発揮する側へと変わっていくこと、さらにはその力を後世に引き継いでいくことも視野に入れていくべきだと思います。

私がこの年末に高鷲に帰ってきて一番感じたことは「ほっとするな」ということでした。そんな場所を守るために、自分の「生きる力」を発揮し、受け継ぎ、地元へ還元していく。私は教師として働き、地元へ貢献する過程で、自分の力を発揮したいと改めて決意しました。

私は高校を卒業し東京の大学に進学しました。教員になるために必要な知識や情報を学んでいます。その中で「生きる力」という言葉があり、それを身に付けることが教育の目的となっていることを知りました。これは知、徳、体という3つの要素から成り、それぞれ、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力を表しています。私たちは仲間と切磋琢磨しながらともに前へ進み、「生きる力」を身に付けたいと思います。そして、その力を身に付ける側から、力を発揮する側へと変わっていくこと、さらにはその力を後世に引き継いでいくことも視野に入れていくべきだと思います。

◆今年の新成人は 432 人 (男240人、女192人)



◆新成人に現在の状況と郡上市で生活することについてのアンケート調査を実施しました

※結果はアンケート回答分のみ

